



Title	研究室の窓
Author(s)	
Citation	演劇学論叢. 2024, 23, p. 66-73
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/94771
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

研究室の窓

(令和5年1月～令和5年12月)

後は、令和5年4月より、大阪大学中之島芸術センター特任教授に就任され、演劇学研究室兼任教員としてかわらず指導をいただいている。

□永田靖教授が退任

本研究室の永田靖教授が令和5年3月末日をもって定年をむかえられ、教授を退任された。永田教授はロシア演劇や現代アジアのインターカルチャーラリズム演劇がご専門で、平成8年に本研究室助教授として着任され、平成16年に同教授に昇任された。その後は文学研究科長、副学長、適塾センター長、総長参与、21世紀懐徳堂学主、社学共創本部長、総合学術博物館長を歴任され、研究のみならず、大学運営に多大な貢献をされた。また、日本演劇学会会長、国際演劇学会理事、大学博物館協議会会長、兵庫県立尼崎青少年創造劇場ピッコロ劇団企画運営委員会委員長、公益財団法人吹田市文化振興事業団メイシアター理事など、学外においても研究・文化活動に尽力された。令和5年3月19日に催された退職記念行事「演劇研究の未来」内にて「大学はいかに劇場となりうるか」の題で講演された。先生の在任中のご指導に、この場を借りて改めて感謝を申し上げたい。退任

□国際会議を開催

令和4年1月4日～5日、国立韓国芸術総合学校演劇院と上海戲劇學院と台北藝術大学と共に第十一回目となる国際演劇学會議 *The 11th International Asian Theatre Studies Conference: Returning to the Theatre, Review and Prospects* を開催した。本年度は上海戲劇學院の主催で、2019年以来、4年ぶりに対面で行われた。永田靖教授が司会を行い、本研究室からは院生の瀧尻浩士、新井静、メンデス・ピント・フェリペの計3名が発表をした。そのほか、韓国、台湾、上海合わせて二十名の研究者、大学院生が発表を行った。今回のシンポジウムでは、本研究室の瀧尻浩士の 'The Relationship Between Characters and Place in Barefoot in the Park: Creating a New "Home" for Comedy' が優秀論文賞に選ばれた。

□令和5年度観劇実習

10月1日 兵庫県立ピッコロ劇団「スター・マン」(ピッコロシアター大ホール)
10月22日 「令和5年度 忠三郎狂言会」(大橿能楽堂)
11月5日 太陽劇団「金夢島 LITTLE DO Kanemu-Jima」(ロームシアター京都メインホール)

□金潤貞氏に学位
令和5年3月、金潤貞氏に、大阪大学から博士（文学）が授与された。学位申請論

11月23日 「11月文楽公演」（国立文楽劇

文の題目は『太田省吾の初期作品研究－沈黙劇の発端と展開をめぐつて－』で、四〇〇字換算で二六九枚ほど。同論文の審査には、永田靖教授（主査）渡辺浩司教授（副査）中尾薰准教授（副査）古後奈緒子准教授（副査）があたった。

場)

12月24日 ミクニヤナイハラプロジェクト

「船を待つ」(扇町ミュージアム

キュー／CUBE03)

□近現代演劇研究会例会

日本演劇学会文分科会近現代演劇研究会
例会を以下のように開催した。詳細は以下
の通り。

令和五年度
八月合同例会

八月二十六日（土）午後二時～

会場・大阪大学中之島芸術センター

4階セミナー室

新井 静（大阪大学大学院）

唐十郎「特權の肉体」論—「特權

的肉体論」の研究受容と再解釈

横堀 応彦（跡見学園女子大学）

未来の市立劇場を志向する：～

ロ・ラウとNTヘント劇場

十二月合同例会

十二月二十三日（土）午後二時～

会場・大阪大学中之島芸術センター

3階スタジオ

金潤貞（早稲田大学演劇博物館）

日韓演劇交流史記述のための問い

かけ—1980年代から2000

年代を中心

永田靖（大阪大学中之島芸術センター）

「中之島芸術センター始まる—その経緯

と展望」『Arts&Media』Vol.13, 夏
月, pp.220-224

□研究室関係者の活動（※は口頭発表）

永田靖（特任教授）

「微しの上を鳥が飛ぶ」編著、大阪大学

総合学術博物館叢書、大阪大学出

版会, 2023年3月, p.96

※「現代大阪演劇—震災、コロナ禍、越

境」西洋戯劇・課堂学術演講訊息、

国立台北藝術大学, 2023年3

月9日

023年11月23日

「われわれはアフリカからどう行くのか」

【KSK IMAJU】2023冬Vol.87,

関西障害者定期刊行物協会, 2023年12月、pp.30-34

中尾 薫（准教授）

「（芸能史の書棚）野村伸一・竹内光浩・

保立道久編『能楽の源流を東アジアに問う—多田富雄「望恨歌」から世阿弥以前へ—』『藝能史研究』240号、2023年1月

※ Myth, Mythmaking & Performance
Opening session, Asian Theatre
Working Group, IFTI Annual
Conference, Accra, Ghana 2023.

兼山論叢】第56号、大阪大学文学部、2023年1月、pp.49-71（査読無）。

「日本寶塚少女歌劇團對於南曲《琵琶記》的改編研究」『戯劇学刊』、国立北芸術大学戯劇学院、2023年7月、pp.51-69（査読有）。（註：『待兼山論叢』56号で発表した「宝塚少女歌劇における中国戯曲の翻案—歌劇『琵琶記』を中心に—」に

より翻訳）

瀧尻浩士（大学院博士後期課程）

「剛の真風と柔の芹香、奇跡のバディ」

【宝塚イズム46】、青弓社、202

3年1月

「特選—宝塚発日帰りツアー—SWORD地区

とイタリアを巡る旅【High&LOW—

THE PREQUEL】『Capricciosa!!』

【宝塚イズム46】、青弓社、2023

年1月

「昨日に向かって撃て— 令和日本の

【サンシャイン・ボーグ】加藤

健一事務所公演vol.107】『ACT

33号、国際演劇評論家協会（A I

C T）日本センター関西支部、2

023年1月

「メタシアターとしての喜劇『サンシャイン・ボーグ』」「ア・イ・カ・リ・ア」

第40号、大阪大学大学院人文学研究科芸術学・芸術史講座、202

3年3月

「観劇実習レポート 大槻文蔵三番能 中

キャンパス、2023年2月11日

※ 「全徳—朱子学の視点から見た朱有燉の演劇教化観」—2023年度日

24日

本演劇学会全国大会、近畿大学東大阪キャンパス、2023年5月

大学大学院文学研究科演劇学研究室、2023年3月

※ 「ハール・サイモンにおける喜劇の脱

都会化—『求婚—アロボーザルズ』

をめぐつて」第33回待兼山芸術学

会、大阪大学中之島芸術センター、

2023年5月6日

「ハ・芹香の 春の門出の めぐらかな、一

宙組新トップコンビへの期待【宝

塚イズム47】、青弓社、2023

年7月

「ハ・ハ・・『007』—イルカを愛したスパ

イ・真風涼帆、その有終の美】『宝

塚イズム47】、青弓社、2023

年7月

※ The Relationship Between Characters

and Place in Barefoot in the Park:

Creating a New "Home" for

Comedy, The 11th International

Asian Theatre Studies Conference,

at Shanghai Theatre Academy,

Shanghai, China. (Excellent Paper

Award), 4 November 2023

岡田登貴（大学院博士後期課程）

「観劇実習レポート『硝子の動物園』（令

和四年一月一八日・梅田芸術劇場

シアター・ドラマシティ」、「演

劇学論叢」第22号、pp.238-239、

2023年3月

※「下間少進仲之の邸宅と能『頬政』」

第六〇回藝能史研究會大会、龍谷

大学大宮キャンパス、2023年

6月11日

※「ふたつの「ある人・有人」一下間少

進『童舞抄』と『能之留帖』」

六麓会一二月例会、ウェブ開催、

2023年12月29日

※「下間少進『叢伝抄』秋田家本・関西

大学本と鴻山文庫本の比較」六麓

会一二月例会、ウェブ開催、2020

2023年12月29日（第22号遗漏分）

新井 静（大学院博士後期課程）

※「日本女性の死はなにを解放するのか—

ノイマルクト劇場＆市原佐都子／

Q『Madama Butterfly』AIC

T関西支部Act33号、2023

※「元和七年十一月六日漢和百韻『紅竹

雪添色』名残折表後半（86～92句）

輪読』和漢聯句研究会、京都大学

国語学国文学研究室（ハイブリッ

ド開催）、2023年9月23日

現代演劇研究会8月例会、大阪大

学中之島芸術センター、2023

メハビス・ピハト・フェリペ（大学院博士

後期課程）

※「日本の現代新作能における異文化対

話—演劇翻訳と翻案」第11回アジ

ア国際演劇学会、上海戲劇学院、

Theatre Academy, Shanghai, China, 5 November 2023.

湯書華（大学院博士後期課程）

※「飛鳥井雅の『紀行』と蹴鞠：東宮への

思いをめぐって」国際研究集会

「紀行」研究の新展開、オンライン

展開に着目して— 中四国保育士

養成協議会教職員研究費助成報

告、共著、2023年4月

※「十三世紀蹴鞠書における「序破急」、

その形成過程と意味」芸能史研究

会例会、オンライン開催、2023年3月10日

※「粧劇『昭君出塞』の脚本・唱腔（歌

い方）・音楽について」王昭君研

究会、オンライン開催、2023年7月23日

※「元和七年十一月六日漢和百韻『紅竹

雪添色』名残折表後半（86～92句）

輪読』和漢聯句研究会、京都大学

国語学国文学研究室（ハイブリッ

ド開催）、2023年9月23日

現代演劇研究会8月例会、大阪大

学中之島芸術センター、2023年8月26日

メハビス・ピハト・フェリペ（大学院博士

後期課程）

※「日本の現代新作能における異文化対

話—演劇翻訳と翻案」第11回アジ

ア国際演劇学会、上海戲劇学院、

Theatre Academy, Shanghai, China, 5 November 2023.

「『松風』における夢幻能・死・喪」サン

パウロ大学出版「日本文化と破

基礎教養科目の効果の測定・評価に関する研究—学習成果のデータ収集・分析を含んだP D C Aサイクルによる自己点検・評価— 岩国短期大学紀要第51号、2023年3月

月 井上美佳（大学院博士後期課程）
「デルサルト表情システムの日本における受容—2代目市川左團次と白井規矩郎の受容の軌跡から— 岩国短期大学紀要第51号、2023年3月

シニア・ドマ・シティ」、「演劇学論叢」第22号、pp.238-239、2023年3月

※「下間少進仲之の邸宅と能『頬政』」

第六〇回藝能史研究會大会、龍谷大学大宮キャンパス、2023年

6月11日

月 月 6月11日

新井 静（大学院博士後期課程）

※「唐十郎「特權の肉体」論—「特權の

肉体論」の研究受容と再解釈」近

現代演劇研究会8月例会、大阪大

学中之島芸術センター、2023年8月26日

メハビス・ピハト・フェリペ（大学院博士

後期課程）

※「日本の現代新作能における異文化対

話—演劇翻訳と翻案」第11回アジ

ア国際演劇学会、上海戲劇学院、

Theatre Academy, Shanghai, China, 5 November 2023.

「『松風』における夢幻能・死・喪」サン

パウロ大学出版「日本文化と破

局」、2023年11月10日

芝田純平（大学院博士前期課程）

※「明治初期の上方落語における『落語改良』—見台等の道具や口演方法

の変遷考—」芸能史研究会七月例

会 ZOOMにてオンライン開催、2023年7月14日

高木帆乃花（大学院博士前期課程）

「心中『死』から見る人の有り様—4月

文楽公演第3部「曾根崎心中」』『大坂日日新聞』2023年5月2日

朝原広基（大学院博士前期課程）

「能楽の地域性を追求する」『宝生』80号、

公益社団法人宝生会、2023年

1月1日

※講座「身近な地域と能楽」歴史と古

典で触れる能・狂言」、主催・公

益財団法人箕面市マイブル文化財

団、箕面市立西南生涯学習セン

ター、2023年1月12日・2月

9日・3月9日（全3回）

※講座「霜乃会プラス」進行役、主催・霜乃会、大阪市・北浜RONDO、

2023年1月12日・2月9日・

4月13日・6月8日・7月13日・
8月10日・9月14日・10月12日・

ラワー・タウン市民センター2Fブ
レイルーム、2023年3月29日

11月9日・12月14日

※講座「能のことばを読んでみる会（巻

絹）」主催・能楽と郷土を知る会、

芦屋能舞台 2023年1月28日

※「復元能（絹）紹介」講話とパネルディ

スカッション八尾高安地域ゆかり

幻の能『絹』を探る講座』コーディ

ネーター、主催・高安ルーツの能

実行委員会、八尾市文化会館4F

会議室1、2023年2月11日

※日本民家集落博物館「伝統芸能フェ

ス」（主催・大阪府教育府文化財

保護課・大阪府登録文化財所有者

の会・上方文化を応援する会）茶

道・華道ミニトーケナビゲー

ター、日本民家集落博物館、20

23年3月19日

※霜乃会プラス 番外編@尼崎「講談と

素淨瑠璃で描かれる『太閤記』」（主

催・上方文化を応援する会・霜乃

会）司会進行、山村能舞台、20

23年3月25日

※講座「春やすみ 子どもとふれる狂言鑑

賞&体験」（主催・能楽と郷土を

知る会）企画・進行、三田市立フ

※講座「第35回能のことばを読んでみる

会『高砂』』『大阪日日新聞』2023年7月4日

023年7月4日

※講座「第35回能のことばを読んでみる

Hip Hop Theater の日米比較

尾寄 美祈

三島由紀夫の歌舞伎観

矢口 奈津実

〔修士論文〕

平田オリザの『ソウル市民』3部作を通じた作劇法研究—空間・不在・言葉・そして無為の演劇について—

崔 英源

長沼重隆の演劇実践と批評活動—1910年代後半を中心に—

波多野 珠喜

（正） 松島慶三の劇作品研究性像

アメリカにおけるブレヒト叙事的演劇の受容について—『母』ニューヨーク公演（1935）を中心にして—

佐藤 勇輝

「演劇センター」（1968—1971）による演劇の革命

山内 日菜子

〔お詫び〕
第20号につきまして、卒業論文一覧に誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

正誤は次の通りです。

（誤） p.117

初期寺山修司の戯曲及びシナリオにおける女性像

神田 七海

野田秀樹『THE BEE』論

工藤 舞弥

如月小春『DOLL』（1983）の少女

廣嶋 萌衣